

Impacting the World

西南学院大学

西南学院中学校・高等学校

西南学院小学校

舞鶴幼稚園

早緑子供の園

2010(平成22)年度 学校法人西南学院 事業報告書

一粒の麦から、次の100年に向かって



 学校法人 西南学院

西南学院の使命

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。

Mission Statement
of
Seinan Gakuin Educational Foundation

Seinan Gakuin, an educational institution endeavoring to be true to Christ in the pursuit of truth in academic affairs and excellence in character development, strives to equip and nurture students to serve as creative and constructive leaders in local communities and in an expanding global society.

目次

2010(平成 22)年度事業報告について	1
I. 学校法人の概要	
1. 沿革	2
2. 組織図	4
3. 理事・監事・評議員	5
II. 事業の概要	
1. 各学校・園概要報告	
(1) 学院本部	6
(2) 大学	8
(3) 中学校・高等学校	10
(4) 小学校	12
(5) 舞鶴幼稚園	13
(6) 早緑子供の園	14
2. トピックス	
(1) 各学校・園行事	15
(2) 認可・認定・届出	19
(3) 学位授与	20
3. データ	
(1) 学生・生徒・児童・園児数	21
(2) 入学試験日程	23
(3) 入学志願者数及び合格・許可者数	25
(4) 卒業生数	27
(5) 大学卒業生就職状況	28
III. 財務の概要	
1. 資金収支計算書	29
2. 消費収支計算書	30
3. 貸借対照表	31
4. 財務比率などの推移	32
5. 財務比率比較表	36

2010(平成 22)年度事業報告について

学校法人西南学院は、2004(平成 16)年以降、当該年度における事業並びに財務の概要を事業報告書としてとりまとめ、2006(平成 18)年度からはその報告書を広く一般にも公開している。2009 年度事業報告書からは、年度初めに策定する事業計画書と内容的な相対性を持たせ、学院の各学校・園における事業の概要がより分かり易い構成となっている。

2010(平成 22)年度は、4 月に開校した西南学院小学校の新設によって始まり、翌年 3 月に発生した東日本大震災への復興支援への取組みなど、西南学院の歴史に刻まれる 1 年となった。西南学院小学校の設置により、西南学院は保育所、幼稚園から大学、大学院までを一貫して備える西日本でも数少ない学校法人となった。各学校・園での教育は、創立時から現在に至るまで建学の精神「西南よ、キリストに忠実なれ」を基としており、2009(平成 21)年からは、更に「21 世紀の西南学院のテーマ“*Impacting the World*”」を定め、2016(平成 28)年に迎える創立 100 周年に向けた取組みを開始している。

本報告書は、Ⅰ. 学校法人の概要、Ⅱ. 事業の概要、Ⅲ. 財務の概要の 3 部から成り、Ⅱ. 事業の概要において各学校・園の主要な事業、トピックス及びデータを掲載している。本報告書のデータは、2010 年度内のものを基本とするため、それぞれ次の時点のものである。

学生・生徒・園児数： 2010 年 5 月 1 日現在

入学試験日程： 2011 年度入試 (2010 年度実施の入試)

沿革： 2011 年 3 月 31 日現在

組織図： 2011 年 3 月 31 日現在

理事・幹事・評議員： 2011 年 3 月 31 日現在

入学志願者数及び合格者数、卒業生及び卒業生総数： 2011 年 3 月 31 日現在

学位授与： 2011 年 3 月現在

Ⅲ. 財務の概要においては、当該年度の資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表に加え、人件費（消費支出）及びその基礎数値となる教職員数、帰属収入と帰属収支差額、消費収支計算書の財務比率、貸借対照表の財務比率、各種引当資産等に関する推移も掲出している。また、大学における 2010(平成 22)年度は、第 11 次財政計画の初年度として同計画に基づく諸事業の開始または準備が始まった。なお、2011 年 3 月から大学では、ホームページ上に教育研究基本情報ページを開設し、より多くの教育情報の公表に取り組んでおり、本報告書と合わせてご参照いただければ幸いである。

※西南学院大学教育研究基本情報ページ

(http://www.seinan-gu.ac.jp/about/public_information/seinan_basic/)

I. 学校法人の概要

1. 沿革

西暦	元号	年	月	内 容
1916	大正	5年	2月	私立西南学院設立(福岡市大名町105番地)
			4月	西南学院開院式
			11月	私立西南学院を私立中学西南学院と改称
1918		7年	1月	早良郡(現福岡市)西新町に移転
1920		9年	7月	私立中学西南学院を中学西南学院と改称
1921		10年	2月	財団法人私立西南学院財団設立
			4月	西南学院高等学部文科及び商科設置
			6月	中学西南学院を西南学院中学部と改称
1923		12年	4月	高等学部神学科増設
1939	昭和	14年	4月	西南学院商業学校設置
1944		19年	4月	西南学院高等学部を西南学院経済専門学校と改称、西南学院商業学校を西南学院工業学校に転換
1946		21年	4月	西南学院工業学校が西南学院商業学校となる、西南学院経済専門学校を西南学院専門学校と改称
1947		22年	4月	西南学院専門学校第二部(英文科、経済科)増設、新制西南学院中学校設置
1948		23年	4月	新制西南学院高等学校設置
1949		24年	4月	西南学院大学学芸学部神学専攻、英文学専攻及び商学専攻設置
1950		25年	4月	西南学院大学短期大学部児童教育科、第二部(英語科、商科)設置
			4月	舞鶴幼稚園(大正3年3月設置認可)及び早緑子供の園(昭和24年6月開設)を西南学院に合併
1951		26年	2月	財団法人私立西南学院財団を学校法人西南学院へ組織変更
			4月	大学学芸学部を文商学部と改称
1954		29年	3月	西南学院専門学校廃止
			4月	大学文商学部を文学部神学科及び英文学科と商学部商学科に分離、文学専攻科神学専攻及び英文学専攻並びに商学専攻科商学専攻設置
1961		36年	4月	西南聖書学院設置
1962		37年	3月	短期大学部第二部(英語科、商科)廃止
			4月	大学商学部経済学科及び商学専攻科経済学専攻増設
1964		39年	3月	大学商学部経済学科及び商学専攻科経済学専攻廃止
			4月	大学経済学部経済学科及び経済学専攻科経済学専攻設置
1965		40年	4月	大学文学部外国語学科増設
1966		41年	3月	大学文学部神学科及び文学専攻科神学専攻廃止
			4月	大学神学部神学科及び神学専攻科神学専攻設置、商学部経営学科増設
1967		42年	4月	大学法学部法律学科設置
1969		44年	4月	大学文学部外国語学科を英語専攻とフランス語専攻に分離、文学専攻科に英語専攻及びフランス語専攻増設
1970		45年	4月	大学商学専攻科経営学専攻増設
1971		46年	4月	大学院法学研究科法律学専攻修士課程設置
			6月	大学国際交流制度発足
1972		47年	3月	大学商学専攻科経営学専攻廃止
			4月	大学院経営学研究科経営学専攻修士課程設置
1973		48年	4月	大学留学生別科設置
1974		49年	4月	大学院法学研究科法律学専攻博士課程及び経営学研究科経営学専攻博士課程並びに大学文学部児童教育学科増設
1975		50年	3月	短期大学部児童教育科及び西南聖書学院廃止
1976		51年	4月	大学文学部国際文化学科増設、大学院文学研究科英文学専攻修士課程及びフランス文学専攻修士課程設置
1978		53年	3月	大学文学専攻科英文学専攻、英語専攻及びフランス語専攻廃止
1980		55年	4月	大学文学専攻科国際文化専攻設置、大学院文学研究科英文学専攻博士課程及びフランス文学専攻博士課程増設
1981		56年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻修士課程設置

西暦	元号	年	月	内 容
1985	昭和	60年	4月	博物館学芸員課程設置
1988		63年	4月	大学経済学部経済学科を経済学専攻と国際経済学専攻に分離、大学神学部神学科に神学コース及びキリスト教人文学コース設置
1992	平成	4年	4月	大学法学部国際関係法学科増設
1994		6年	4月	西南学院高等学校男女共学へ移行
1996		8年	4月	西南学院中学校男女共学へ移行、西南学院中学校・高等学校一貫教育実施
1997		9年	4月	大学院文学研究科国際文化専攻修士課程増設
2000		12年	4月	大学院文学研究科国際文化専攻博士課程増設
2001		13年	4月	大学文学部社会福祉学科増設
2004		16年	4月	大学院法務研究科法曹養成専攻専門職学位課程(法科大学院)設置
2005		17年	3月	大学文学部児童教育学科、社会福祉学科及び経済学部経済学科の2専攻(経済学専攻、国際経済学専攻)廃止
			4月	大学人間科学部児童教育学科及び社会福祉学科設置、経済学部国際経済学科増設
			4月	大学院神学研究科神学専攻修士課程及び人間科学研究科人間科学専攻修士課程設置
2006		18年	3月	大学文学部国際文化学科及び文学専攻科国際文化専攻並びに大学院文学研究科国際文化専攻博士課程廃止
			4月	大学国際文化学部国際文化学科及び大学院国際文化研究科国際文化専攻博士課程設置
2007		19年	4月	大学院神学研究科神学専攻博士課程及び人間科学研究科人間科学専攻博士課程増設
2009		21年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻博士課程増設
2010		22年	4月	西南学院小学校開設

3. 理事・監事・評議員

理事・監事・評議員 [2011(平成23)年3月31日現在]

理事	理事長 寺園 喜基	以下理事	21名
監事	2名		
評議員	47名		

Ⅱ. 事業の概要

1. 各学校・園概要報告

(1) 学院本部

- A. 建学の精神に基づく、一貫教育による国際的な能力を育成するための教育の推進
各学校・園では、チャペル等の時間を設けて日常的にキリスト教主義に基づく人格教育を行うと共に、各年齢段階に応じた語学教育、研修・留学の機会等を設けて、語学力及び国際的に活動できる能力の育成に努めた。
- B. 学院創立 100 周年に向けての準備開始
2010 年 4 月に 100 周年事業推進室を設置し、西南学院創立 100 周年事業企画運営委員会を中心に、キャッチフレーズ、基本コンセプト、ロゴマーク及び 100 周年事業の柱を策定した。
- C. 2010 年度を「エコキャンパス元年」と位置づける
学院全体での温暖化対策・環境問題への取組を推進し、エネルギーの管理を適切に行い、推進するための組織体制の検討を開始した。また、省エネルギー化を図るために、大学図書館の空調機の取替え(2011 年度)や学術研究所研究室の空調機の取替え(2011 年度～2012 年度)の計画を含めた中長期計画を作成し、九州経済産業局に提出した。
- D. 総人件費の抑制とそれによる教育研究費の割合の増額
大学は、特別に緊急支援奨学金 1,080 万円を追加支援するなど経済的に困窮している学生への奨学金を増額し、同時に 2011 年度以降の経済的、報奨的な奨学金制度についても検討した。管理経費は前年度比 5%カットの導入を図る一方教育・研究経費については増額に努め、人件費の抑制策も鋭意検討している。中高では 2010 年度をもって 3 号基本金(奨学基金)の積立てを完了した(累計額 3 億円)。今後は運用収入を財源とした奨学金の拡充が期待される。
- E. 将来計画に備えるための健全な財政基盤の確立
2010 年度は、退職予定者数の実態を勘案し、退職給与引当金の計上基準を 50%から 100%へ見直しを行った。また、減価償却の耐用年数についてもより実態に近づけるなど見直しを行った。予算執行に当たっては、一定の基準を設定し、特に大規模工事等の発注において見積り内容を精査して厳正に対応するなど経費削減に努めた。物品購入については、株式会社キャンパスサポート西南を活用して支出の削減に努めた。その他、寄附金、競争的補助金の獲得、及び資産運用収益等の増額の具体的は方策も検討中である。

F. その他

3月11日(金)に発生した東日本大震災に対して、早速週明けの14日(月)に寺園喜基理事長・院長を委員長として、西南学院としての緊急復興支援委員会を立ち上げ、各学校・園においては小委員会を設置することを決定した。翌15日(火)の同第一回委員会では、義援金の方法、ボランティアの派遣について検討し、義援金の協力についてホームページに掲載すると共に、各学校・園での卒業式などで義援金の協力依頼文書を出席者に配布した。3月末の時点での義援金総額は、3,120,975円となった。また、被災学生・生徒の受入れ等についてもホームページに掲載した。

(2) 大学

A. 「教育と研究の充実と強化」のために

- ① 2010年度から、大学では「特色ある学部教育実施経費」を3,500万円増額し、各学部・学科が希望する教育の実現を支援した。また、全学規模でも双方向の授業を可能とする機器を導入した。大学院では給付奨学金の一層の拡充、法科大学院では教育環境整備のための機器を拡充した。
- ② 教育・研究推進機構では、学内GP制度と共同研究育成制度を募集し、各々2件採択した。一期(3年)を終了して2期目に継続する学内GPを含めて8件の学内GPと2件の共同研究のプロジェクトが実行された。
- ③ 大学第11次財政計画に基づき、大学奨学基金及び教育研究振興基金として、それぞれ5,000万円を積立てた。これまでの累計額は大学奨学基金9億8,000万円、教育研究基金4億7,000万円である。なお、今年度は特別に緊急支援のための奨学金1,080万円を支給した。
- ④ 「文部科学省GP」に採択されている以下の3つの事業を継続的に支援した。
 - ア. 学生主導型ゼミによる地域活性化人材の育成－「九州四大学合同ゼミ」における地域課題と切り結ぶ政策教育の充実－(平成20年度質の高い大学教育推進プログラム)
 - イ. 国公立大コンソーシアム・福岡－地域からアジアへ、環境・エネルギー問題に挑む－(平成20年度戦略低大学連携支援事業)
 - ウ. 将来の進路を展望した人間力・学士力向上プログラム(平成21年度大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム)
- ⑤ 学部・学科の共通科目として、自校史講義「西南学院史」を、4月12日から7月19日の期間に計14回実施した。
- ⑥ 博物館での特別展、特別企画
博物館では、以下の特別展、企画展およびワークショップを開催した。
 - ア. 春季特別展 「南蛮の鼓動 - 大分に残るキリシタン文化-」
2010年5月27日～7月3日
 - イ. 秋季特別展 「海を渡ったキリスト教 - 東西信仰の諸相」
2010年11月2日～12月11日※ 日本財団および船の科学館・海と船の博物館ネットワークから助成を受け開催。
 - ウ. 企画展「シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON」
2010年7月12日～10月29日
 - エ. 企画展「蒙古襲来絵詞と元寇防塁」 2010年12月21日～2011年5月18日
 - オ. せいなんこどもワークショップ(小学生対象)
2010年10月～2011年3月まで計6回開催
- ⑦ 公開講座・リカレント講座の開講
公開講座運営委員会では、以下の通り前期2講座、後期1講座の公開講座を開講した。
 - ア. 「今」「ここ」を生きる子ども達への発達・教育支援を考える

イ. 映画・映像の創造者～撮影監督

ウ. 「魅力ある街、博多・福岡ー西南学院のおもしろ博多・福岡学」

西南コミュニティセンター委員会では、以下の通りリカレント講座を開講した。

ア. 社会人のための TOEIC 対策講座

⑧ 大学間連携の推進

ア. 継続中の大学間連携

九州大学、福岡女子大学と本学との包括連携を核として、国公立大学コンソーシアム・福岡、Q-Links(九州地域大学教育改善 FD・SD ネットワーク)、福岡西部地区 5 大学連携等の複数の大学間連携事業を推進した。特に、Q-Links では、本学で年次報告会を実施した。

イ. 新規の大学間連携

本学大学院神学研究科とアジアバプテスト神学大学院との間で相互の神学教育・研究促進を目的に連携協定を締結した。また、九州大学、福岡女子大学とともに、日本における欧州連合 (EU) の高度な学術研究拠点として EU Institute in Japan (EUIJ) 九州を発足した。学部学生や大学院生対象に EU をテーマにした科目を履修できる「ディプロマプログラム」の新設、欧州の教授招聘、奨学金提供、大学間共同研究や学術交流など行っていく予定である。

B. 教育と研究の環境整備のために

① 言語教育センター棟建設と機能移転

6 号館及び自然科学館跡地に言語教育センター棟を建設する計画で、6 号館及び自然科学館を解体した。

② 校舎等耐震改修工事

老朽化により耐震改修が必要な合宿研修所の耐震改修及びリニューアル工事を実施した。

③ 情報処理環境の整備

2011 年度の SAINS 更新へ向けて、仕様策定、各種情報機器の選定、要件定義等を行った。

④ 将来の施設建設資金

大学第 11 次財政計画に基づき、体育館 2 億円、西南会館 5,000 万円及びメディア棟 (仮称) に 5 億円を積立てた。また、今後の中央キャンパスの施設整備長期計画に備えるため備品の基本金取崩相当額 14 億円を施設・設備拡充引当特定資産として設定し、資金を留保した。

⑤ 学生証及び教職員名札の IC カード化

IC カード検討に関するプロジェクトチームにおいて、セキュリティ強化、危機管理等将来に備えた環境整備を目的として、2012 年 4 月から学生証、教職員名札の IC カード化を行うことを提言した。

⑥ エコキャンパスの第一歩

大学環境マネジメント委員会の各委員会において、省資源、省エネルギー、グリーン購入の推進及び廃棄物の減量と適正管理などをはじめとする活動を進め、大学内の環境負荷の低減に努めた。また、設備更新による省エネルギー化も検討した。

(3) 中学校・高等学校

A. 少子化と経済不況の中で、私立学校は大きな試練に直面しており、定員の確保が大きな課題となっている。周辺私立学校の校舎の改装や男女共学化、大学との系列化などが進められており、これら改革の先発校であった本校の優位性をどう保ち、「教育の西南」をアピールしていくかが課題となっている。幸いにも本校は志願者に恵まれ、2011年度も必要な生徒数を確保することができた。

また、2011年度大学入学試験の結果において、国公立大学に146名(うち九州大学に53名)の合格者を出すなど、順調な結果を残すことができた。主な大学への合格実績は以下の通りである。

主な大学合格実績(2011年3月現在)

東京大学	2名	京都大学	3名	大阪大学	3名	東北大学	1名
北海道大学	1名	筑波大学	2名	九州大学	53名	九州工業大学	10名
長崎大学	8名	熊本大学	2名				
西南学院大学	201名	早稲田大学	29名	慶應義塾大学	24名	上智大学	8名
立命館大学	45名						

B. 2010年度の主な事業は以下の通りである。

① 奨学事業の充実

2008年度から3年をかけて3億円の奨学基金を積み立てており、2010年度に完了した。この基金を有効活用して経済的援助が必要とされる生徒に広く援助を行う。現在、援助の内容について検討を進めている。

② 100周年事業についての基金の設置

現在、100周年事業の一つとして体育館の空調化を検討しており、空調機器設置のための基金を設け、積立を行っている。

③ 保護者・生徒へのサービスの向上

緊急時の迅速な対応や朝の欠席連絡の混雑解消のために、「メルポコ」による緊急連絡システム及び欠席受付システムを導入してサービス向上を図っている。

④ 教育カリキュラムの検討

新学習指導要領に対応した教育カリキュラムについて、教育課程、時制、教職員スタッフなどについて検討に入った。

C. 学友会活動の2010年度の主な実績は以下の通りである。

① 高等学校

「九州大会」

- ・ヨット部：第38回九州高等学校ヨット競技大会(宮崎県)
- ・ヨット部：第22回全九州選抜ヨット選手権大会(鹿児島県)
- ・写真部：第16回九州高文連写真：優秀賞：帖地 洗平(沖縄県)

- ・写真部：第 17 回全国高等学校写真選手権大会(写真甲子園)
：九州・沖縄ブロック決勝進出
- ・弓道部：第 18 回九州高等学校弓道新人選手権(鹿児島県)
- ・放送部：第 32 回九州高等学校放送コンテスト(熊本県)
- ・物理部：九州高等学校生徒理科研究発表大会(長崎県)
「全国大会」
- ・書道部：第 34 回全国高等学校総合文化祭：伊藤佳奈美(宮崎県)
- ・写真部：第 34 回全国高等学校総合文化祭優秀賞：帖地 洗平(宮崎県)
- ・ヨット部：全国高校総合体育大会(沖縄県)

② 中学校

「九州大会」

- ・陸上部：九州中学校陸上大会：110mハードル優勝：上野佑太(佐賀県)
- ・テニス部：全九州中学生テニス選手権大会：団体三位(熊本県)
：第 9 回九州中学生新人テニス大会(長崎県)
- ・女子ハンドボール部：九州中学校ハンドボール競技大会(鹿児島県)
- ・吹奏楽部：第 38 回マーチングバンド・バトントワーリング九州予選
：金賞(熊本県)

「全国大会」

- ・陸上部：全日本中学校陸上競技選手権大会
：110mハードル優勝：上野佑太(鳥取県)
：全日本中学校陸上競技選手権大会(神奈川県)

(4) 小学校

A. 学校の開校

2010年4月1日、教職員22名(専任教員11名、常勤講師1名、非常勤講師3名、専任職員1名、嘱託職員5名、臨時職員1名)が配置され、西南学院小学校が開校した。4月5日に転入学式が行われ、2年生52名、3年生70名が入学。引き続き4月8日に入学式が行われ、1年生72名が入学、総数194名の児童を迎え入れ小学校がスタートした。

B. 教育プログラムの推進

開校初年度から独自の教育プログラムを積極的に展開した。当初の計画通り、ネイチャーキャンプ、スポーツフェスティバルやアSEMBリーなどの縦割教育、花の日等の特設チャペル、ミッションウィークやクリスマス礼拝などのキリスト教に関する行事など、多彩な年間プログラムを実施した。また、日本航空(株)やパラマウントジャパン(株)からの申し入れにより、ウィングタイムを利用した特別授業を実施することができた。

C. 転入学試験の実施

入学定員を満たしていない2年生について、転入学試験を実施して児童の充足を行った。結果として、2011年度の新3年生として14名の児童が転入学することになり、教育活動の充実及び財政負担の軽減を図ることができるようになった。

D. 後援会組織の発足

6月に後援会総会を開催し、7月1日付で後援会が発足した。後援会からの援助により、図書館の蔵書数を大幅に増やしたり、校内外の環境整備を行うことができた。また、後援会有志のボランティアにより、児童の登下校時の見守りを行っていただくなど、物心両面におけるサポートを受け、児童が快適な学校生活を送ることができた。

(5) 舞鶴幼稚園

A. 2010年度は、地域や保護者向けに子育てに関する情報発信に主に力を入れた。

① 地域の子育て支援活動

「親子であそぼう会」を6回実施した(実施日5月19日、6月16日、7月16日、9月8日、10月20日、1月19日)。参加人数は、のべ507名(各回平均85名程度)で、わらべ歌やリズム運動等を中心に、ホールで行った。

② 育児相談会

育児相談会を8回実施した(実施日5月19日、6月15日、6月16日、7月16日、9月8日、9月9日、10月20日、1月19日)。参加人数は、のべ40名(各回平均5名程度)で、親子で遊ぼう会やミニ講演会の後、育児の悩み等の相談を受け付けた。

③ 保護者向け講演会

保護者向け講演会を4回実施した(実施日6月15日、9月9日、11月25日、11月27日)。参加人数は、のべ266名(平均67名)で、3回分は園の教員が行い、生活リズムや食育について講演した。また、11月は外部講師(藤田浩子氏)を招いて講演会を行った。

④ 早緑子供の園との合同将来計画検討会

合同将来計画検討会を2回実施した(実施日6月21日、12月6日)。初回は、両園の現状報告や、今後の進め方について協議した。2回目は、答申期限の一定期間延長を審議し、舞鶴幼稚園の預かり保育制度の在り方について検討することを確認した。

2010年4月時点で、年少クラス54名が入園し、転入・転出を経て、最終的に2011年3月では、54名となった。年中クラスは、4月で3名の新入園児で、今年3月時点で在園児数56名、年長は3月で49名であった。3学年全体では、最終的に2011年3月時点の在籍数は159名であった。(2010年3月は158名)2010年度の転入園児は18名、転出園児は15名であった。未就園児クラス(ちびっこ)も年間60名以上在籍し(前期開始時64名、後期開始時62名)、そのうち約61%が舞鶴幼稚園に入園した。預かり保育の利用者数はのべ1,187人であった。

B. 中長期計画として、下記のように、園の経営的安定と学院内の連携推進が課題として挙げられる。

① 全学年7クラスの体制を維持

2011年度は7クラス体制を維持する。4月の在園児数175名を確保。

② 子育て支援の充実と早緑子供の園との連携

ア. 預かり保育は、週3回から4回に増加できた。早緑子供の園との共有化は今後の課題とする。

イ. 未就園児クラスの充実を図り、園児数の安定的な確保のため、子育て支援と園児確保の両面にわたる目的の見直しを検討し、2011年度より実施に移す。

③ 西南学院小学校との連携推進の意義を確認し合い、その検討課題を提示する。

(6) 早緑子供の園

保育所行政変革の動きもある中で、早緑子供の園では保育の質の向上に努めた。社会における保育所不足の現状に応じながらも、守るべきものと改革すべき事柄を省察しながら、日々の保育を丁寧に見直す1年となった。

- A. 待機児童解消のためには、毎年流動的なクラス編成で園児の入所を考える必要がある。現状では新たに保育室を整備し、クラスを増やすことは費用や保育士体制の面から見ても難しい状況である。よって、今後の継続的課題として捉えている。
- B. 舞鶴幼稚園・早緑子供の園将来検討委員会が発足し、具体的に将来計画を検討し始めた。
- C. 園内研究会で保育を見合うときの観点を、保育士で分野ごとに担当して体系的にまとめるなど、研究会そのものの充実を図る。
- D. 給食調理機器や給湯器・床暖房の故障など、緊急な事柄の対応に追われた。危機管理対策として、乳児園庭出入り口垣根の拡幅工事やスロープの衝撃吸収シート貼り付けなども行った。
- E. その他、園児が西南学院小・中・高等学校を訪問したり、西南学院大学児童教育学科の学生が講義や卒論研究で園を訪れる機会が増えるなど、学院全体のつながりを深めることができた。また、西南学院ホームページがリニューアルされ、園の情報を発信する機会が増えたことにより、地域の子育て支援についても一助をなすきっかけとなった。

2. トピックス

(1) 各学校・園行事 (2010年4月～2011年3月)

	(1) 学院本部・事務局	(2) 大学
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・新任教職員オリエンテーション(2日) ・キ学教同盟西南地区協議会総会(23日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式(1日) ・オリエンテーション(2～5日) ・前期授業開始(学部・大学院:6日、法科大学院:2日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・学院創立記念式典(14日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・九州六大学野球春季応援合戦(5日) ・留学生別科終了式(13日) ・学院創立記念式典(14日) ・春季キリスト教フォーカスウィーク(25～27日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・キ学教同盟総会(11～12日) ・キ学教同盟西南地区中高聖書科研修会(10～11日) ・日本バプテスマ連盟事業体懇談会(25日) 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・キ学教同盟事務職員夏期学校(24～26日) ・キ学教同盟夏期研究集会(26～28日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入試説明会(3・5～10・12～14・16日) ・大学院オープンキャンパスウィーク(12～17日) ・前期試験(学部:20日～8月2日、 法科大学院:26日～8月6日) ・オープンキャンパス(31日～8月1日)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・キ学教同盟西南地区夏期学校(2～3日) ・キ学教同盟西南地区新任教師オリエンテーション(2～) ・キ学教同盟西南地区校長会(3日) ・キ学教同盟西南地区事務職員研修会(18～19日) ・職員夏期修養会(23～24日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休暇(学部・大学院:3日～9月20日、 法科大学院:7日～9月12日) ・留学生別科入学式(26日) ・留学生別科入学式(26日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・伝道者養成に関する協議会(9日) ・キ学教同盟大学部会研究集会(9～10日) ・キ学教同盟西南地区大学部会研究集会(9～10日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院秋期入試(4日) ・修学懇談会(11日) ・法科大学院入試(未修者試験・法学既修者認定試験) (18～19日) ・後期授業開始(学部・大学院:21日、法科大学院:13日) ・前期卒業証書・学位記授与式(22日)
10月		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームカミングデー(2日) ・AO選抜・3年次転・編入等、帰国子女入試(23日) ・大学院オープンキャンパスウィーク(29日～11月4日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・キ学教同盟西南地区事務長会(4～5日) ・日本バプテスマ連盟定期総会(10～12日) ・キ学教同盟100周年記念式典(23日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種推薦等、2年次転・編入、外国人入試 (6・11～12日) ・大学祭(11～14日) ・秋季キリスト教フォーカスウィーク(30日～12月2日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・西南学院教職員クリスマス(15日) ・西南学院コミュニティクリスマス(20日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンドルサービス(22日) ・冬季休暇(学部・大学院:25日～1月5日、 法科大学院:22日～1月5日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・キ学教同盟西南地区校長会(14日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試センター試験(15～16日) ・後期試験(学部:21日～2月3日、 法科大学院:24日～2月9日)
2月		<ul style="list-style-type: none"> ・一般入試(5・7～10日) ・一般入試、センター試験利用入試(前期)、 一般入試及びセンター試験併用型入試合格者発表 (23日) ・大学院春期入試(24・26日) ・法科大学院入試(既修者、2年次転編入試験)(25日)
3月		<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験利用入試(後期)合格者発表(11日) ・西南ファカルティリトリート(16日) ・卒業礼拝、卒業証書・学位記授与式(22日)

※キ学教：キリスト教学校教育同盟

	(3) 高等学校	(4) 中学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> 入学式(7日) 始業式(8日) 新入生オリエンテーション(11～12日) 	<ul style="list-style-type: none"> 入学式(7日) 始業式(8日) 1年学院紹介オリエンテーション(12日) 2年生集団生活(26日～28日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> 後援会総会(7日) 学院創立記念式典(13日) 中間考査(19～23日) 前期ミッションウィーク(25～27日) 	<ul style="list-style-type: none"> 学院創立記念式典(13日) 中間考査(19～20日) 前期ミッションウィーク(23～24日) 後援会総会(25日) 同和特設授業(30日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> 同和特設授業(1～3日) 期末考査(24日～29日) 	<ul style="list-style-type: none"> クラスマッチ(3日) 期末考査(27～29日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> 教員聖書研究会(8日) 文化祭(15～16日) 終業式(19日) 前期補習(20～29日) 韓国からの旅(30日～8月2日) 訪豪研修旅行(30日～8月13日) 	<ul style="list-style-type: none"> 教員聖書研究会(8日) 中体連開会式(16日) 終業式(19日) 韓国からの旅(30日～8月2日)
8月	<ul style="list-style-type: none"> 中期補習(1～4日) 後期補習(17～26日) 中・高教員研修会(29～30日) 	<ul style="list-style-type: none"> サマースクール(17～25日) 中・高教員研修会(29～30日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> 始業式(1日) スポーツフェスティバル(7～9日) 教員聖書研究会(29日) 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式(1日) 体育祭(23日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> 中間考査(5～7日) 2年生林間学校(17～21日) 1・3年生遠足(21日) 	<ul style="list-style-type: none"> 中間考査(5～6日) 学年別遠足(7日) 同和特設授業(17日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> 後期ミッションウィーク(16～18日) クリスマスツリー点灯式(17日) 	<ul style="list-style-type: none"> 合唱発表会(4日) 後期ミッションウィーク(7～9日) クリスマスツリー点灯式(17日) 期末考査(30日～12月2日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> 期末考査(1～6日) クリスマス礼拝(8～9日) フェアウェルパーティ(20日) 終業式(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス礼拝(13日) 終業式(22日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> 始業式(10日) 専願入学試験(24日) 専願入試合格発表(26日) 教員聖書研究会(27日) 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式(10日) 入学試験(18日) 合格発表(20日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> 前期入学試験(3日) 前期入試合格発表(7日) 後期入学試験(11日) 後期合格発表(14日) 期末考査(24～29日) 	<ul style="list-style-type: none"> 入学説明会(4日) 3年修学旅行(8～10日) 期末考査(22～24日)
3月	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式(1日) 終業式(21日) 入学者説明会(22日) 訪米研修旅行(24日～4月3日) 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業礼拝(6日) 修了式(14日) 終業式(21日)

	(5) 小 学 校	(6) 舞 鶴 幼 稚 園
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・転入学式(5日) ・入学式(8日) ・オリエンテーション(9日) ・アチーブメントテスト(20日) ・1stアセンブリー(歓迎)(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・始園式(12日) ・入園式(13日) ・教会学校開始(19日) ・家庭訪問(15日～30日) ・預かり保育開始(22日) ・母の会総会(23日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・2ndアセンブリー(地域)(6日) ・学院創立記念式典(14日) ・芸術鑑賞会(音楽)(21日) ・ミッションウィーク(24～25日) ・春のアートウィーク(24～28日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母礼拝開始(7日) ・父親参加の日(9日) ・交通安全教室(11日) ・未就園児保育(13日) ・学院創立記念式典(14日) ・ミニ講演・育児相談(18日) ・親子であそぼう会(19日) ・歓迎遠足(20日) ・防災訓練(27日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・学習参観(4日) ・後援会総会(4日) ・花の日チャペル(施設訪問)(8日) ・個人懇談(16～23日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診(3～4日) ・花の日礼拝(7日) ・ミニ講演・育児相談(15日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末テスト(8日) ・ネイチャーキャンプ(22～23日) ・平和学習(27日) ・終業式(28日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕(6日) ・夏まつり(11日) ・1学期終業(16日) ・未就園児対象ちびっこ水あそび(20日)
8月		<ul style="list-style-type: none"> ・夏期保育(19～23日) ・光組合宿保育(24～26日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(1日) ・学校公開・入試説明会(25日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業(2日) ・未就園児対象ちびっこどろんこあそび(8日) ・ミニ講演(9日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスティバル(16日) ・ミッションウィーク(20～21日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会(9日) ・新年度入園募集説明会(13・23日) ・親子であそぼう会(20日) ・月組お泊り保育(21～22日) ・健康診断(29日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・3rdアセンブリー(縦割り)(2日) ・クッキー作り(4日) ・サンクスギビングチャペル(5日) ・入学試験(19～20日) ・芸術鑑賞会(演劇)(24日) ・合格発表(29日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児面接(2日) ・みかん狩り遠足(4～5日) ・感謝祭礼拝(8日) ・子育て講演会(25日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋のアートウィーク(1～9日) ・学級参観・懇談会(3日) ・学期末テスト(9日) ・クリスマスチャペル(21日) ・終業式(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス礼拝(3日) ・クリスマス祝会(11日) ・2学期終業(16日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(11日) ・アチーブメントテスト(18日) ・新1年生入学説明会(22日) ・ブレインオリンピック(27日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業(11日) ・親子であそぼう会(19日) ・親子もちつき大会(22日) ・未就園児クラス募集説明会(31日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬のアートウィーク(校内書写展)(14～18日) ・学習発表会(2、3年)(17日) ・転入学試験(26日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・春を呼ぶ会(17・23日・3月2日) ・母の会総会(25日)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・転入学合格発表(1日) ・転入学説明会(5日) ・学習参観・懇談会(10日) ・修了式(25日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝(6日) ・卒業式(16日) ・終業式(17日) ・子ども同窓会(19日) ・新入園児体験入園(22日) ・カリキュラム研究会(23～24日)

(7) 早 緑 子 供 の 園	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式(1日) ・保育開始(1日) ・イースター礼拝(19日) ・幼児クラス保護者懇談会(16日) ・乳児クラス保護者懇談会(9日) ・年長児社会見学(28日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会(9日) ・学院創立記念式典(14日) ・保護者会総会(15日) ・親子遠足(15日) ・春季総合検診(25日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・花の日礼拝(7日) ・年長児社会見学2(8日) ・歯科検診(28日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会(3日) ・さみどりこどもまつり(17日) ・卒園記念製作(やきものづくり)(21日) ・プール開き(22日) ・さみどり小・中学生の集い(27日)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・さみどり小・中学生の集い(3. 10. 24日) ・お泊り保育説明会(27日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会(4日) ・お泊り保育(10～11日) ・おじいさん、おばあさんと遊ぶ会(17日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児社会見学(6日) ・運動会(23日) ・乳児クラス保育参観(29日) ・育児講座(30日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度入所申込み受付開始(1日) ・感謝祭礼拝(8日) ・幼児クラス遠足(11日) ・保育園で遊ぼう会(13日) ・入園説明会(13日) ・アドヴェント礼拝(29日) ・ツリー点灯式(29日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスメッセージ(3日) ・入園説明会(9日) ・こひつじクリスマス(11日) ・早緑クリスマス(18日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会(22日) ・小学生同窓会(22日) ・入園説明会(22日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談会(4日) ・年長児社会科見学(16日) ・育児講座(19日) ・新年度入所発表・面接(26日)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室(1日) ・幼児クラス保護者懇談会(4日) ・お別れ会(8日) ・お別れ遠足(9日) ・乳児クラス保護者懇談会(11日) ・卒園式(19日) ・保育終了(31日)

(2) 認可・認定・届出

該当なし

(3) 学位授与

2011(平成23)年3月31日現在

報告番号	博士の専攻分野の名称	授与年月日	論文審査終了年月日
甲第12号	博士（国際文化）	平成23年3月22日	平成23年2月17日
甲第13号	博士（国際文化）	平成23年3月22日	平成23年2月17日

3. データ

(1) 学生・生徒・児童・園児数

2010(平成22)年5月1日現在

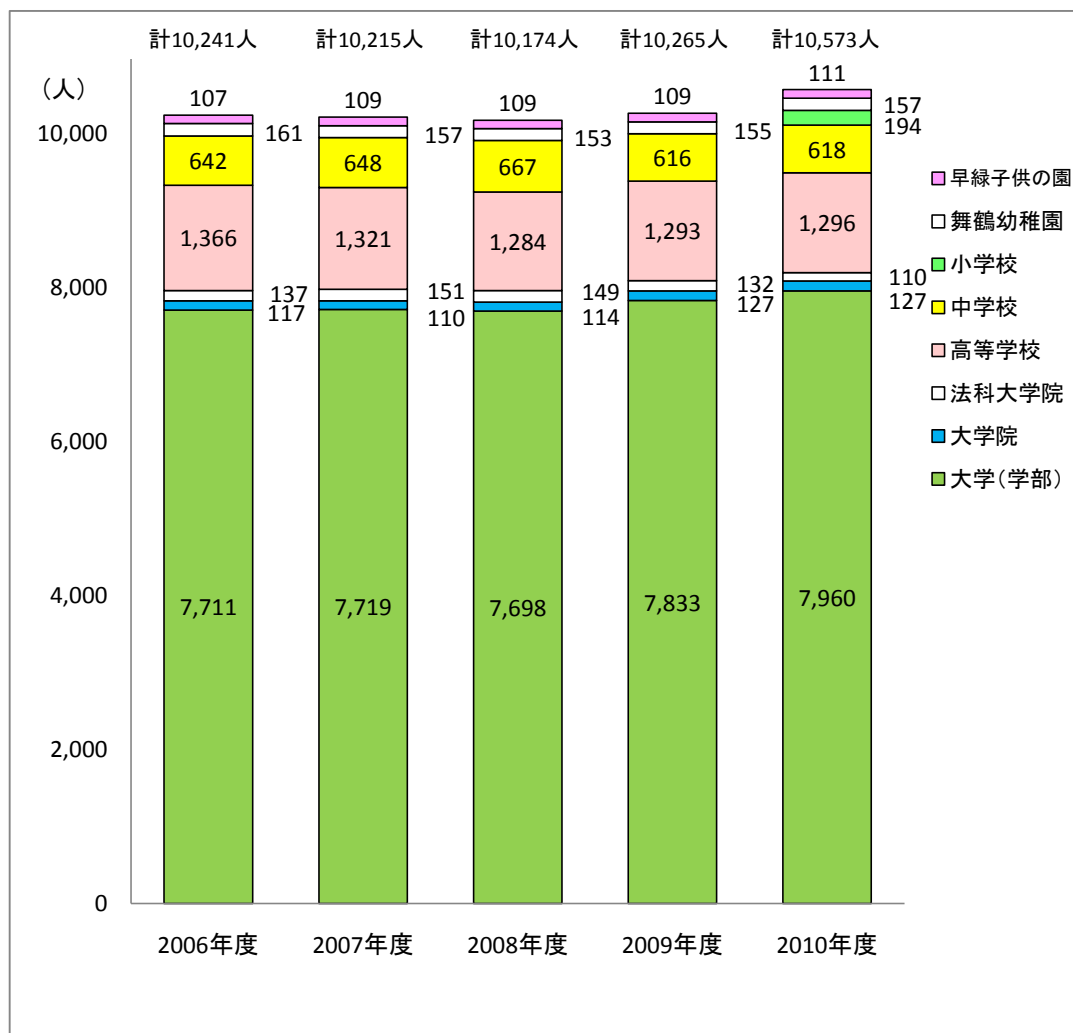
学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 等				入 学 者	総 数
大	神 学 部	神 学 科		8	47
	文 学 部	英 文 学 科		112	494
		外国語学科	英 語 専 攻	120	483
	フ ラ ン ス 語 専 攻		53	240	
	商 学 部	商 学 科		177	735
		経 営 学 科		183	760
	経 済 学 部	経 済 学 科		247	1,054
		国 際 経 済 学 科		119	498
	法 学 部	法 律 学 科		294	1,299
		国 際 関 係 法 学 科		98	411
人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科		104	461	
	社 会 福 祉 学 科		159	712	
国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科		193	766	
(小 計)				1,867	7,960
学	法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	博 士 前 期	1	2
			博 士 後 期	0	1
	経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	博 士 前 期	17	35
			博 士 後 期	1	1
	文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	博 士 前 期	3	4
			博 士 後 期	3	7
		フ ラ ン ス 文 学 専 攻	博 士 前 期	3	5
			博 士 後 期	0	2
	経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	博 士 前 期	3	6
			博 士 後 期	0	0
	神 学 研 究 科	神 学 専 攻	博 士 前 期	4	12
			博 士 後 期	0	1
	人 間 科 学 研 究 科	人 間 科 学 専 攻	博 士 前 期	2	8
			博 士 後 期	1	5
国 際 文 化 研 究 科	国 際 文 化 専 攻	博 士 前 期	10	23	
		博 士 後 期	4	15	
(小 計)				52	127
大 学 院 法 務 研 究 科 (法 科 大 学 院)			専 門 職 学 位	33	110
専 攻 科	神 ・ 商 ・ 経 済			1	1
選 科 生	神 学 部			2	2
留 学 生 別 科				47	36
〔 大 学 計 〕				2,002	8,236
高 等 学 校				434	1,296
中 学 校				221	618
小 学 校				194	194
舞 鶴 幼 稚 園				62	157
早 緑 子 供 の 園				21	111
〔 合 計 〕				2,934	10,612

注：大学学部の入学者数は一年次入試のみ。

小学校は、新2年生及び新3年生の転入学者を含む。

学生・生徒・児童・園児数の推移

各年度 5月1日現在



※大学専攻科、選科生、留学生別科の学生数は含まない。

(2) 入学試験日程

2011(平成23)年度入学試験日程

入 学 試 験 等		願 書 受 付 期 間	試 験 日	合 格 者 発 表 等	
大 一 般	指 定 校	2010(平成22)年10月12日(火) ～10月22日(金)	11月 6日(土)	11月18日(木)	
	独 自 指 定 校 (神・フランス専・商・法・児教・福祉)				
	西 南 女 学 院 高 校				
	西 南 学 院 高 校		11月 6日(土) 筆記 11月12日(金) 面接		
	公 募 制 (英文・フランス専・商・経済・法)		2010(平成22)年10月18日(月) ～10月29日(金)		11月11日(木)
	A O 選 抜 入 試 (英 専)	2010(平成22)年 9月21日(火) ～10月 1日(金)	10月23日(土)	10月28日(木)	
	指 定 校 選 抜 入 試 (英 専)	2010(平成22)年10月18日(月) ～10月29日(金)	11月11日(木)	11月18日(木)	
	神 学 部 商 学 部 人 間 科 学 部 〔 社 会 福 祉 学 科 〕	2011(平成23)年 1月 5日(水) ～ 1月18日(火)	2月 5日(土)	2月23日(水)	
	文 学 部		2月 7日(月)		
	経 済 学 部		2月 8日(火)		
国 際 文 化 学 部	2月 9日(水)				
全 学 部	2月10日(木)				
法 学 部 人 間 科 学 部 〔 児 童 教 育 学 科 〕					
大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 利 用 入 試 (前 期)	2011(平成23)年 1月 5日(水) ～ 1月14日(金)	1月15日(土) ～1月16日(日)	一般入試及びセンター 試験を受験		
一 般 ・ セ ン タ ー 併 用 型 入 試					
大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 利 用 入 試 (後 期)	2011(平成23)年 2月17日(木) ～ 3月 2日(水)	1月15日(土) ～1月16日(日)	3月11日(金)		
3 年 次 転 ・ 編 入 等	2010(平成22)年 9月21日(火) ～10月 1日(金)	10月23日(土)	10月28日(木)		
帰 国 子 女	2010(平成22)年 9月27日(月) ～10月 8日(金)	11月12日(金)	11月18日(木)		
2 年 次 転 ・ 編 入					
外 国 人					
大 学 院	博 士 前 期 法 学 研 究 科 経 営 学 研 究 科 文 学 研 究 科 経 済 学 研 究 科 神 学 研 究 科 人 間 科 学 研 究 科 国 際 文 化 研 究 科	秋 期	一般及び外国人等(国内居住者)・社会人 2010(平成22)年 7月21日(水) ～ 7月28日(水)	9月 4日(土)	9月 8日(水)
			春	一般及び外国人等(国内居住者) 2011(平成23)年 1月14日(金) ～ 1月24日(月)	2月26日(土)
		※飛び級 2011(平成23)年 2月 1日(火) ～ 2月10日(木)			
		社 会 人 2011(平成23)年 1月14日(金) ～ 1月24日(月)			
	外 国 人 等 (国 外 居 住 者) 2010(平成22)年10月 8日(金) ～11月12日(金)				
	博 士 後 期 法 学 研 究 科 経 営 学 研 究 科 文 学 研 究 科 経 済 学 研 究 科 神 学 研 究 科 人 間 科 学 研 究 科 国 際 文 化 研 究 科	春	一般及び外国人等(国内居住者) 2011(平成23)年 1月14日(金) ～ 1月24日(月)	2月24日(木)	
			季		
		春			
			外 国 人 等 (国 外 居 住 者) 2010(平成22)年10月 8日(金) ～11月12日(金)		

入 学 試 験 等		願 書 受 付 期 間	試 験 日	合 格 者 発 表 等	
大 学 院	大 学 院	専 門 職 学 位 法 務 研 究 科 (法 科 大 学 院)	法学未修者及び法学既修者 2010(平成22)年 8月17日(火) ～ 8月31日(火)	9月18日(土) ～9月19日(日)	10月5日(火)
			法 学 既 修 者 (2 月 試 験) 2011(平成23)年 1月13日(木) ～ 1月27日(木)	2月12日(土) ～2月13日(日)	2月25日(金)
高 等 学 校	専 願 入 試	2011(平成23)年 1月19日(水) ～ 1月21日(金)	1月25日(火)	1月27日(木)	
	前 期 入 試	2011(平成23)年 1月27日(木) ～ 2月 2日(水)	2月 4日(金)	2月 8日(火)	
	後 期 入 試	2011(平成23)年 2月 8日(火) ～ 2月10日(木)	2月12日(土)	2月15日(火)	
中 学 校		2010(平成22)年12月13日(月) ～2011(平成23)年1月6日(木)	1月19日(水)	1月21日(金)	
小 学 校	1 年 生	2010(平成22)年 9月21日(火) ～10月 8日(金)	10月27日(水) ～11月12日(金) 面接 11月19日(金) 個別適性検査① 11月20日(土) 個別適性検査②及び 集団適性検査	11月29日(月)	
	3 年 生 転 入 学	2011(平成23)年 1月24日(月) ～ 2月 4日(金)	2月19日(土) 面接 2月26日(土) 学力及び適性検査	3月1日(火)	
幼 稚 園		2010(平成22)年11月 1日(月)	11月2日(火)、4日(木) 面接	11月5日(金)	

(3) 入学志願者数及び合格・許可者数
2011(平成23)年度入学志願者数・合格者数

学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 等			入学定員	入学志願者数	合格者・許可者数			
大 学	神 学 部	神 学 科	10	35	13			
	文 学 部	英 文 学 科	100	963	370			
		外国語学科	英語専攻	100	1,114	338		
	フランス語専攻		50	436	157			
	商 学 部	商 学 科	150	2,487	601			
		経 営 学 科	150	1,682	509			
	経 済 学 部	経 済 学 科	200	2,351	787			
		国 際 経 済 学 科	100	1,401	387			
	法 学 部	法 律 学 科	270	2,272	913			
		国 際 関 係 法 学 科	80	576	260			
	人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科	100	1,556	420			
		社 会 福 祉 学 科	150	1,800	526			
	国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科	150	2,061	551			
大 学 部 計			1,610	18,734	5,832			
大 学 院	法 学 研 究 科	博 士 前 期	10	秋期	1	1	1	
			3	春期	1	0		
	博 士 後 期	2			2			
		経 営 学 研 究 科	博 士 前 期	10	秋期	16	8	15
	3			春期	16	7		
	博 士 後 期	1			1			
		文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	博 士 前 期	10	秋期	1	1
	3				春期	5	3	
	博 士 後 期	0			0			
		フ ラ ンス 文 学 専 攻	博 士 前 期	5	秋期	1	1	2
	3			春期	1	1		
	博 士 後 期	0			0			
		経 済 学 研 究 科	博 士 前 期	7	秋期	3	2	4
	3			春期	4	2		
	博 士 後 期	0			0			
		神 学 研 究 科	博 士 前 期	7	秋期	4	4	5
	2			春期	1	1		
	博 士 後 期	1			1			
		人 間 科 学 研 究 科	博 士 前 期	10	秋期	3	1	8
	3			春期	8	7		
博 士 後 期	3			3				
	国 際 文 化 研 究 科	博 士 前 期	10	秋期	6	6	12	
3			春期	9	6			
博 士 後 期	3			3				
	大 学 院 計			92	90	61		
大 学 院 法 務 研 究 科 (法 科 大 学 院)			専 門 職 学 位	35	116	52		
専 攻 科	神 ・ 商 ・ 経 済		30	1	1			
選 科 生	神 学 部		若 干 名	0	0			
大 学 計			1,767	18,941	5,946			
高 等 学 校			450	1,014	747			
中 学 校			200	1,168	588			
小 学 校			70	132	95			
舞 鶴 幼 稚 園			160	69	69			
早 緑 子 供 の 園			90	50	15			
合 計			2,737	21,374	7,460			

注1. 大学学部の入学生志願者数及び合格者数は1年次入試のみ。

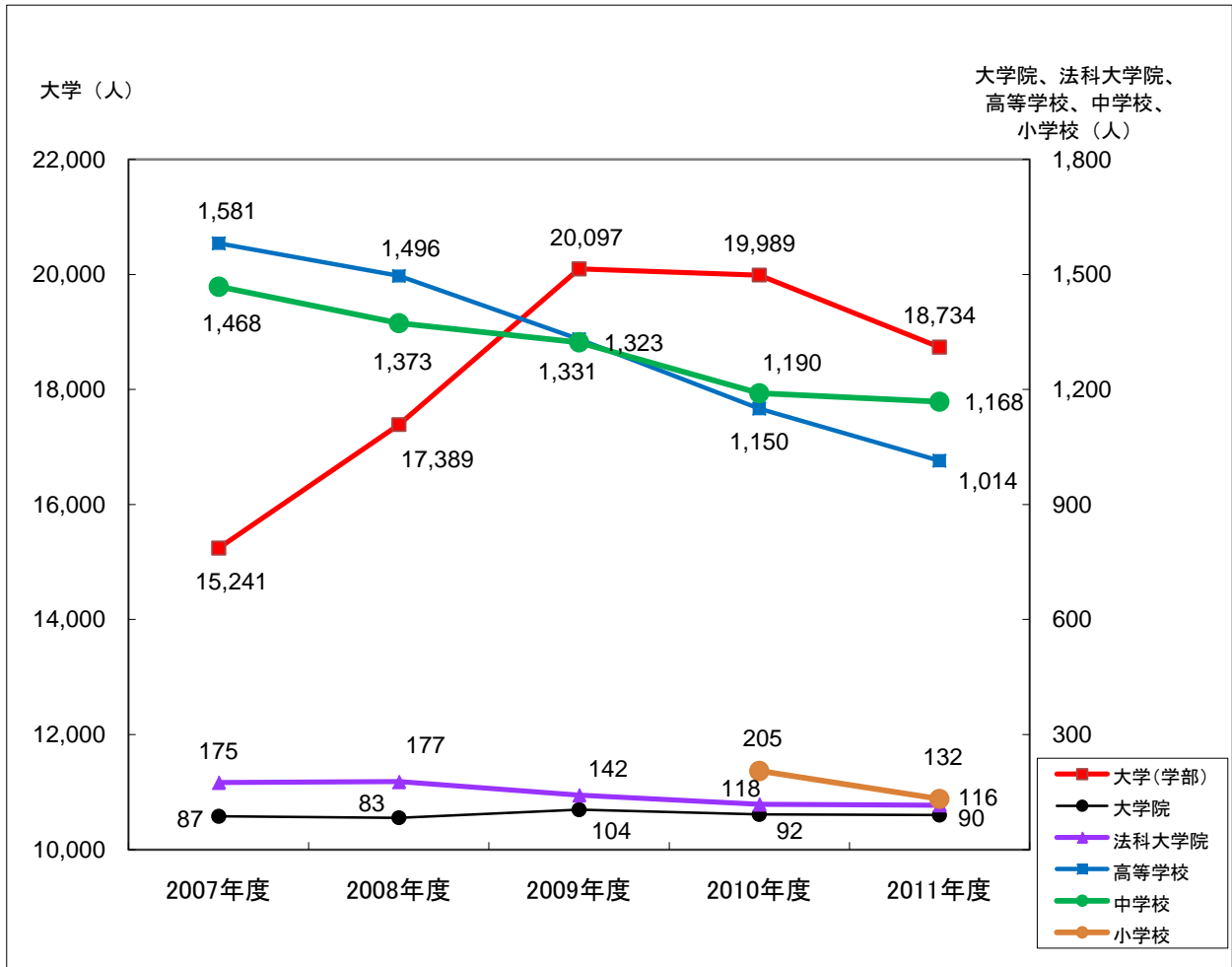
注2. 大学学部については、指定校推薦(志願者192名、合格者192名)、西南高推薦(志願者63名、合格者63名)、各種推薦等入試(志願者295名、合格者262名)、帰国子女入試(志願者8名、合格者7名)、外国人入試(志願者6名、合格者4名)を含む。

注3. 留学生別科は除く。

注4. 小学校の入学生志願者数及び合格者数は、1年生のみ。

注5. 舞鶴幼稚園及び早緑子供の園の入学生定員は収容定員を示す。

入学志願者数の推移



注1. 大学学部の入学志願者数は、1年次入試のみ。

注2. 大学学部については、各種推薦等入試、帰国子女入試、外国人入試の志願者数を含む。

注3. 留学生別科は除く。

注4. 小学校の入学志願者数は、1年生のみ。

(4) 卒業生数
2010(平成22)年度卒業生数

2011(平成23)年3月31日現在

2010(平成22)年度卒業生等				累 計	廃止学校・学部・学科等卒業生累計			
学校・学部・学科等			人 員					
大 学	神 学 部	神 学 科	11	384	文 商 学 部	神学専攻	20	
		英 文 学 科	104	6,370		英文学専攻	88	
	文 学 部	外 国 語 学 科	英 語 専 攻	107		4,937	商学専攻	473
			フ ラ ン ス 語 専 攻	55	2,299	文 学 部	神 学 科	113
	商 学 部	商 学 科	166	13,030	英 文 学 科		夜 間	78
		経 営 学 科	155	8,527	商 学 部	商 学 科	夜 間	674
	経 済 学 部	経 済 学 科	237	13,451		経 済 学 科		218
		国 際 経 済 学 科	103	2,175	文 学 専 攻 科	神 学 専 攻	53	
	法 学 部	法 律 学 科	274	13,917		英 文 学 専 攻	94	
		国 際 関 係 法 学 科	81	1,374		英 語 専 攻	14	
人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科	117	4,206	フ ラ ン ス 語 専 攻		11		
	社 会 福 祉 学 科	168	1,246	国 際 文 化 専 攻	21			
国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科	179	4,531	商 学 専 攻 科	経 済 学 専 攻	2		
(学 部 計)		1,757	76,447		経 営 学 専 攻	7		
大 学	博 士 前 期 修 士	法 学 研 究 科	1	223	短 期 大 学 部	英 語 科 第 二 部	324	
		経 営 学 研 究 科	14	213		商 学 科 第 二 部	1,576	
		文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	1		145	児 童 教 育 科	1,598
			フ ラ ン ス 文 学 専 攻	2		55	児 童 専 攻 科	0
		経 済 学 研 究 科	3	81	高 等 学 校	定 時 制	830	
		神 学 研 究 科	5	21	早 緑 幼 稚 園		412	
		人 間 科 学 研 究 科	5	26	西 南 聖 書 学 院		41	
		国 際 文 化 研 究 科	11	132	(廃 止 学 校 等 計)		6,647	
	(博 士 前 期 ・ 修 士 計)		42	896				
	博 士 後 期	法 学 研 究 科	0	39				
経 営 学 研 究 科		0	54					
文 学 研 究 科		英 文 学 専 攻	0	27	旧 制 学 校 卒 業 生 累 計			
		フ ラ ン ス 文 学 専 攻	0	16	中 学 部	本 科	2,283	
神 学 研 究 科		0	1	商 業 学 校	本 科	456		
人 間 科 学 研 究 科		1	3	工 業 学 校	別 科	4		
国 際 文 化 研 究 科	2	27	高 等 学 部	英 文 科	566			
(博 士 後 期 計)	3	167		研 究 科	11			
(大 学 院 計)	45	1,063		補 習 科	22			
法 務 研 究 科 (法 科 大 学 院)	32	198		経 済 専 門 学 校	経 済 科	2,223		
神 学 専 攻 科	神 学 専 攻	1	265		専 門 学 校 一 部	商 科		
	商 学 専 攻 科	0	116	神 学 科 本 科		30		
経 済 学 専 攻 科	経 済 学 専 攻	0	108	神 学 科 選 科	12			
(専 攻 科 計)		1	489	英 文 科	55			
選 科 生	神 学 部	0	90	専 門 学 校 二 部	経 済 科	142		
留 学 生 別 科 (終 了 者)		47	692		実 務 科	159		
《 大 学 計 》		1,882	78,979	専 門 学 校	別 科	271		
高 等 学 校	全 日 制	434	23,529	児 童 教 育 科		4		
中 学 校		201	12,061	婦 人 部 制				
舞 鶴 幼 稚 園		49	5,041	(旧 制 学 校 等 計)		6,238		
早 緑 子 供 の 園		21	809	合 計		12,885		
合 計		4,469	120,419	合 計		133,304		
総 合 計								

注1. 大学院博士後期課程は、単位修得満期退学者数を示す。

注2. 留学生別科は、2009-2010年度及び2010-2011年度12月の留学生別科終了者数を示す。

(5) 大学卒業生就職状況

2011(平成23)年3月31日現在

A. 就職状況

区 分		神学部	文学部	商学部	経済学部	法学部	人間科学部	国際文化学部	合 計	
卒業生総数		11	259	308	324	342	283	177	1,704	
卒業後の進路	就職者数	自家営業	1	1				2	4	
		自家営業以外	1	166	231	247	228	206	121	1,200
	進学者数	(大学院)	1	5	4	2	9	5	4	30
		(大学院以外)		1	1	1	2	3		8
上記以外		9	86	71	74	103	69	50	462	
就職希望者数		1	198	249	261	262	233	136	1,340	

注1) 就職者数は、正式に「進路報告書」を提出した者および就職課で把握している内定者の合計人数

注2) 進学者数(大学院)は、大学院、法科大学院に進学した者の人数

注3) 進学者数(大学院以外)は、大学学部・学科、専攻科・別科に進学した者の人数

注4) 上記以外は、進学準備者、受験準備者、専修学校等入学者、アルバイト・パート、就職未決定者、進路未報告者等の合計人数

B. 業種別就職状況

区 分	神学部	文学部	商学部	経済学部	法学部	人間科学部	国際文化学部	合 計
農業、林業								
漁業								
鉱業、採石業、砂利採取業								
建設業		2	4	10	3	4	1	24
製造業		21	28	19	22	16	11	117
電気・ガス・熱供給・水道業		1	1	1	2			5
情報通信業		17	17	20	23	8	10	95
運輸業、郵便業		13	8	17	9	1	15	63
卸売業、小売業		21	50	46	35	21	23	196
金融業、保険業		30	69	73	50	21	19	262
不動産業、物品賃貸業		6	9	6	6	5	2	34
学術研究、専門・技術サービス業		1			6	1	1	9
宿泊業、飲食サービス業		5	3	1	3	1		13
生活関連サービス業、娯楽業								
教育、学習支援業		12	1	3	2	46	5	69
医療、福祉		5	9	5	6	57	7	89
複合サービス事業		2	4	3	4	3	3	19
サービス業(他に分類されないもの)	1	21	19	24	16	14	19	114
公務(他に分類されるものを除く)		7	9	17	38	7	5	83
上記以外のもの		1	1				2	4
合 計	1	165	232	245	225	205	123	1,196

注1) 業種別就職状況は、正式に「進路報告書」を就職課に提出した者および自家営業の合計人数とし、就職課で把握している内定者は除く。

Ⅲ. 財務の概要

当期の予算の執行状況について、その概要は以下のとおりである。

1. 資金収支計算書

資金収支総括表

(収入の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異	執行率
学生生徒納付金収入	8,964	8,961	3	100%
手数料収入	580	518	62	89%
寄付金収入	89	88	1	99%
補助金収入	1,191	1,235	△ 44	104%
資産運用収入	230	231	△ 1	100%
資産売却収入	3,400	5,200	△ 1,800	153%
事業収入	246	246	0	100%
雑収入	233	295	△ 62	127%
前受金収入	1,703	1,749	△ 46	103%
その他の収入	3,366	3,703	△ 337	110%
資金収入調整勘定	△ 2,016	△ 2,042	26	101%
当年度資金収入合計	17,987	20,183	△ 2,196	112%
前年度繰越支払資金	5,342	5,342		
収入の部合計	23,330	25,526	△ 2,196	

入学検定料が減少した。

文科省GP関連補助金、小学校経常費補助金が増加した。

現有する有価証券を施設・設備拡充引当特定資産へ振替及び臨時償還。

私学退職金団体からの交付金収入が増加した。

預り金の受入が増加した。

資金の受入が次年度になるもの、又前年度に資金の受入が済んでいるものを控除している。

(支出の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異	執行率
人件費支出	6,923	6,924	△ 1	100%
教育研究経費支出	2,447	2,088	359	85%
管理経費支出	649	543	106	84%
施設関係支出	558	142	416	25%
設備関係支出	307	269	38	88%
資産運用支出	6,628	8,635	△ 2,007	130%
その他の支出	2,762	3,034	△ 272	110%
予備費	94	94	0	0%
資金支出調整勘定	△ 167	△ 179	12	107%
当年度資金支出合計	20,201	21,455	△ 1,254	106%
次年度繰越支払資金	3,128	4,071	△ 943	
支出の部合計	23,330	25,526	△ 2,196	

物品等の調達や業務委託内容の見直し、光熱水費等の経費節減に取り組んでいる。

言語教育センター棟の着工が次年度となった。大学合宿研修所耐震改修費が低く抑えられた。

メディア棟(仮称)、体育館等将来への施設拡充資金、奨学基金などの積立を行った。

預り金の支出が増加した。

資金の支払が次年度になるもの、又、前年度に資金の支払が済んでいるものを控除している。

当年度資金収支差額	△ 2,214	△ 1,272	△ 942
-----------	---------	---------	-------

前年度繰越支払資金より12億7,000万円下回っている。現金預金有高がその分減少した。

経常的収支計算

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異	執行率
経常的収入(網掛け科目)	11,533	11,574	△ 41	100%
経常的支出(網掛け科目)	10,019	9,555	464	95%
経常的収支差額	1,514	2,019	△ 505	

※表中の金額は、いずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

2. 消費収支計算書

説明は資金収支計算書と異なる部分について行っている。

消費収支総括表

(消費収入の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒納付金	8,964	8,961	3
手数料	580	518	62
寄付金	89	103	△ 14
補助金	1,191	1,235	△ 44
資産運用収入	230	231	△ 1
資産売却差額	0	0	0
事業収入	246	246	0
雑収入	233	299	△ 66
帰属収入合計	11,534	11,592	△ 58
基本金組入額合計	△ 981	△ 979	△ 2
消費収入の部合計	10,553	10,613	△ 60

寄贈図書・寄贈備品を受け入れた。

(消費支出の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
人件費	8,936	8,944	△ 8
教育研究経費	3,810	3,430	380
(内、減価償却費)	1,363	1,340	23
管理経費	841	737	104
(内、減価償却費)	191	194	△ 3
資産処分差額	128	143	△ 15
予備費	157	157	0
消費支出の部合計	13,872	13,254	618

退職給与引当金の計上基準を見直した(50%→100%)。

固定資産の耐用年数等を見直した。

6号館、自然科学館を解体した。

消費収入決算額が106億円に対し、消費支出決算額は132億円で、単年度では26億円の支出超過となる。

帰属収支差額	△ 2,338	△ 1,662	
当年度消費収入超過額	0	0	
当年度消費支出超過額	3,319	2,640	
前年度繰越消費収入超過額	2,913	2,913	
基本金取崩額	1,481	1,664	
翌年度繰越消費収入超過額	1,075	1,937	

備品の総合償却により耐用年数が満了となったものを取り崩した。

当年度支出超過に前年度収入超過と基本金取崩額を加えて19億円となる。予算額より8億6,000万円好転した。

※帰属収入(115.9億円)の構成比率

学納金(大学)	65.4%
学納金(中高)	9.8%
学納金(小学校)	1.5%
学納金(幼稚園)	0.6%
手数料	4.5%
寄付金	0.9%
補助金	10.7%
資産運用収入	2.0%
資産売却差額	0.0%
事業収入	2.1%
雑収入	2.6%

※消費支出(132.5億円)の構成比率

教員人件費	33.4%
職員人件費	16.2%
役員報酬	0.2%
退職給与引当金繰入額	17.6%
教育研究経費	25.9%
(内減価償却費)	10.1%
管理経費	5.6%
(内減価償却費)	1.5%
資産処分差額	1.1%

※表中の金額は、いずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

3. 貸借対照表

貸借対照表

資産の部 (単位: 百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	58,776	56,182	2,594
有形固定資産	39,946	41,199	△ 1,253
その他の固定資産	18,830	14,983	3,847
流動資産	5,196	7,459	△ 2,263
合 計	63,972	63,641	331

6号館及び自然科学館を解体した。

退職給与引当資産、施設拡充引当資産及び奨学基金等が増加した。

退職給与引当資産、施設拡充引当資産及び奨学基金等への繰入により現金預金及び短期有価証券が減少した。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
負債			
固定負債	3,088	1,068	2,020
流動負債	2,566	2,594	△ 28
合 計	5,654	3,662	1,992
基本金	56,381	57,066	△ 685
消費収支差額	1,937	2,913	△ 976
合 計	63,972	63,641	331

退職給与引当金が増加した。

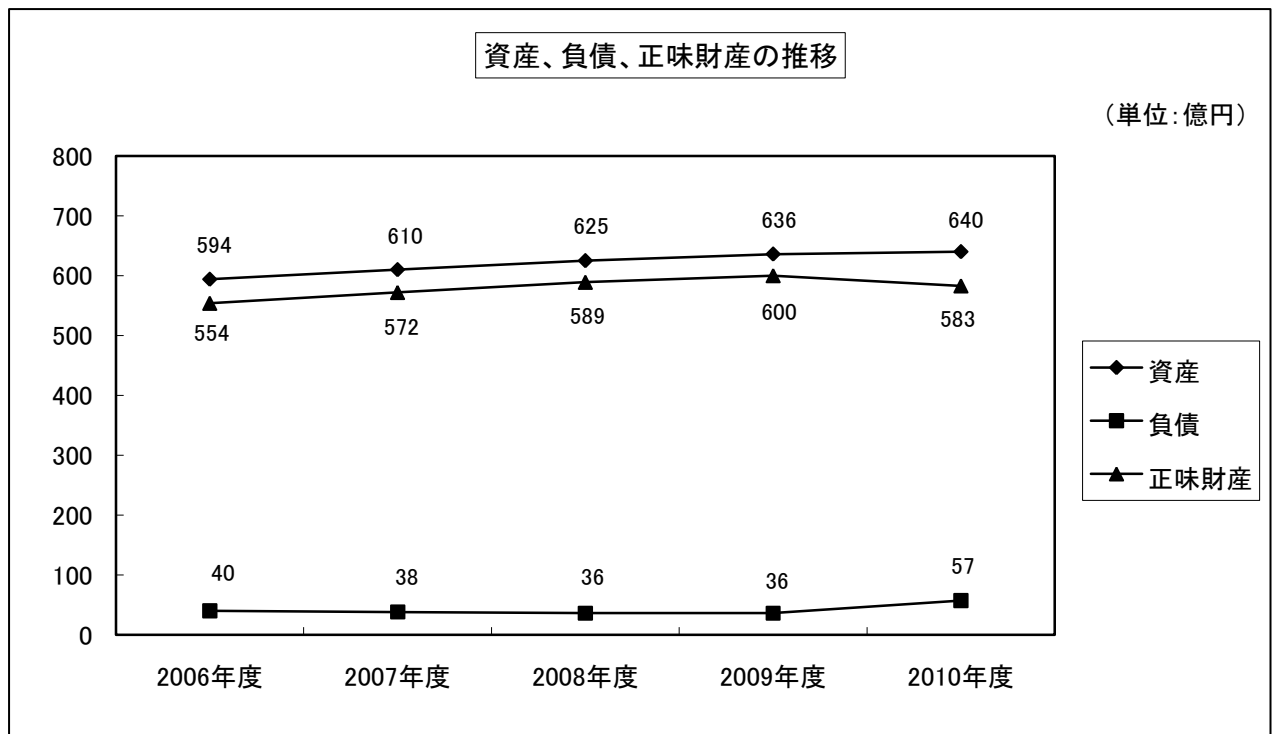
(参考)

正味資産	58,318	59,979	△ 1,661
------	--------	--------	---------

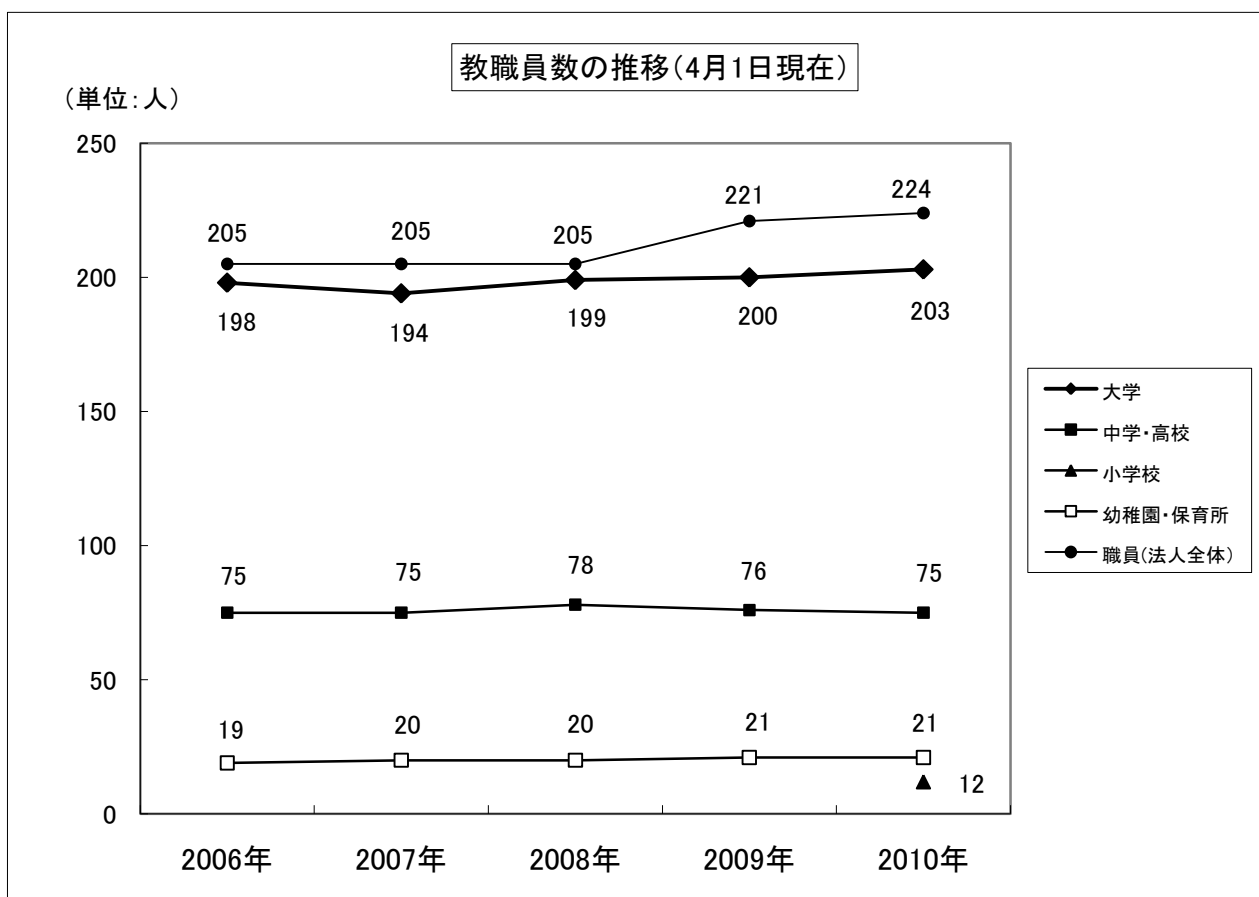
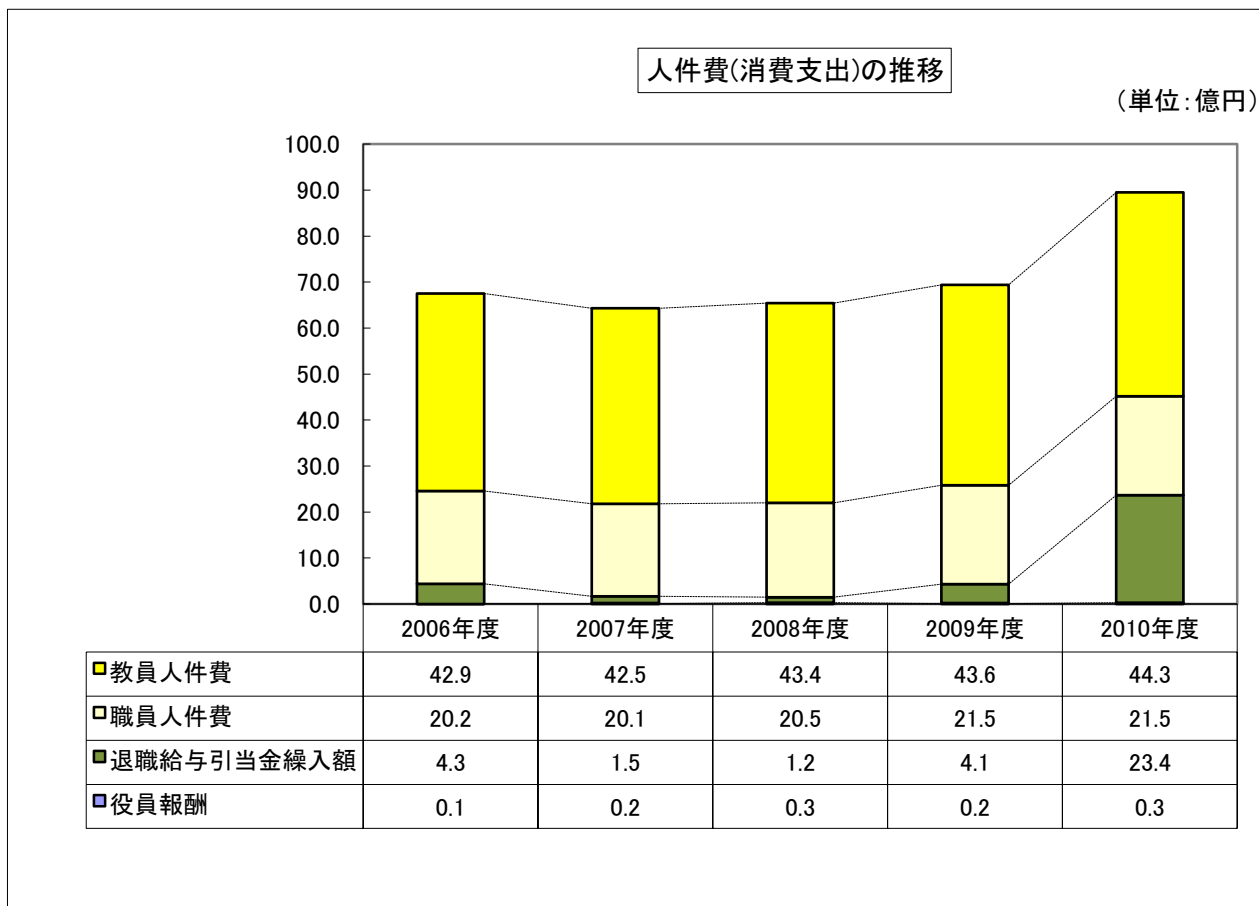
※正味資産＝資産－負債(＝基本金＋消費収支差額)

減価償却額の累計額	10,262	10,866	△ 604
基本金未組入額	77	0	77

※表中の金額は、いずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

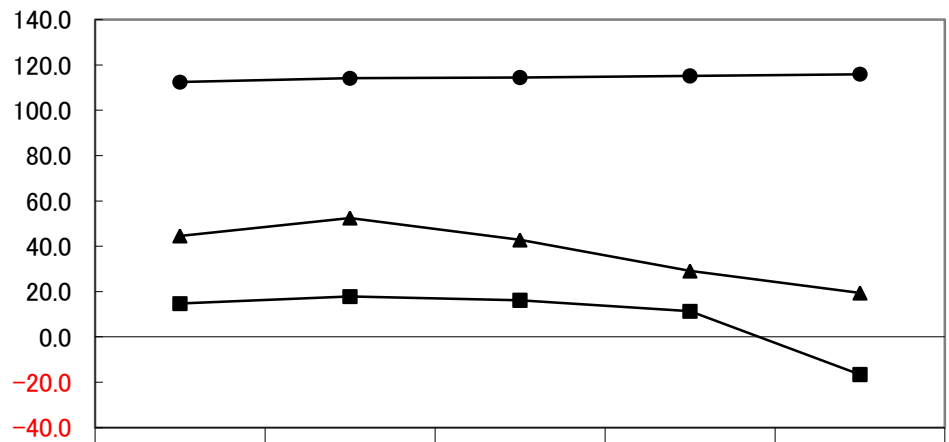


4. 財務比率などの推移



帰属収入と帰属収支差額の推移

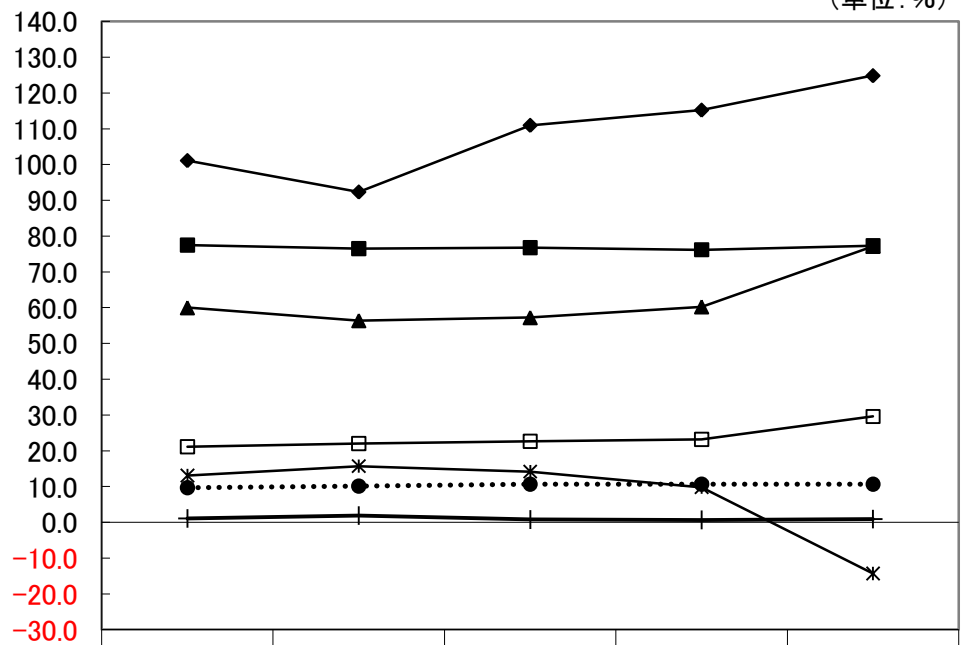
(単位:億円)



	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
● 帰属収入	112.4	114.1	114.4	115.1	115.9
■ 帰属収支差額	14.7	17.8	16.2	11.3	-16.6
▲ 翌年度繰越消費収支差額	44.6	52.5	42.8	29.1	19.4

消費収支計算書の財務比率の推移

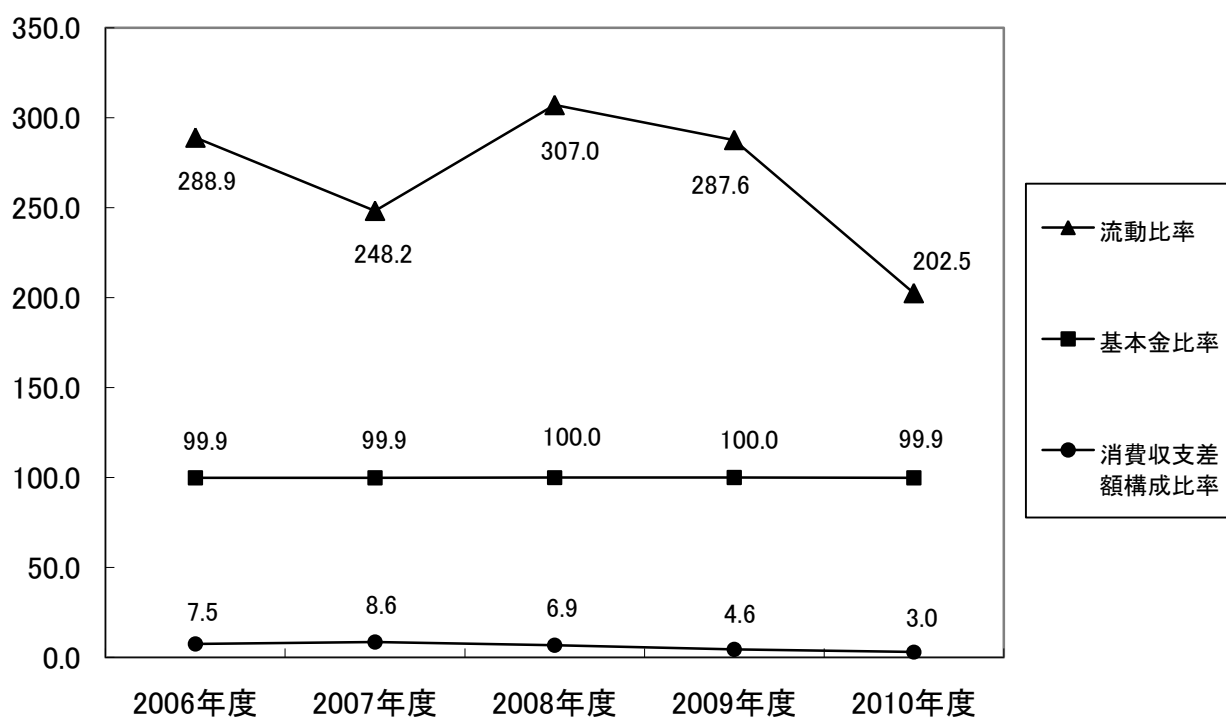
(単位:%)



	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
◆ 消費収支比率	101.1	92.3	111.0	115.2	124.9
■ 学生生徒等納付金比率	77.5	76.5	76.8	76.2	77.3
▲ 人件費比率	60.0	56.4	57.2	60.3	77.2
□ 教育研究経費比率	21.1	22.0	22.6	23.2	29.6
* 帰属収支差額比率	13.1	15.7	14.2	9.8	-14.3
● 補助金比率	9.7	10.1	10.7	10.6	10.7
+ 寄付金比率	1.1	1.9	0.8	0.7	0.9

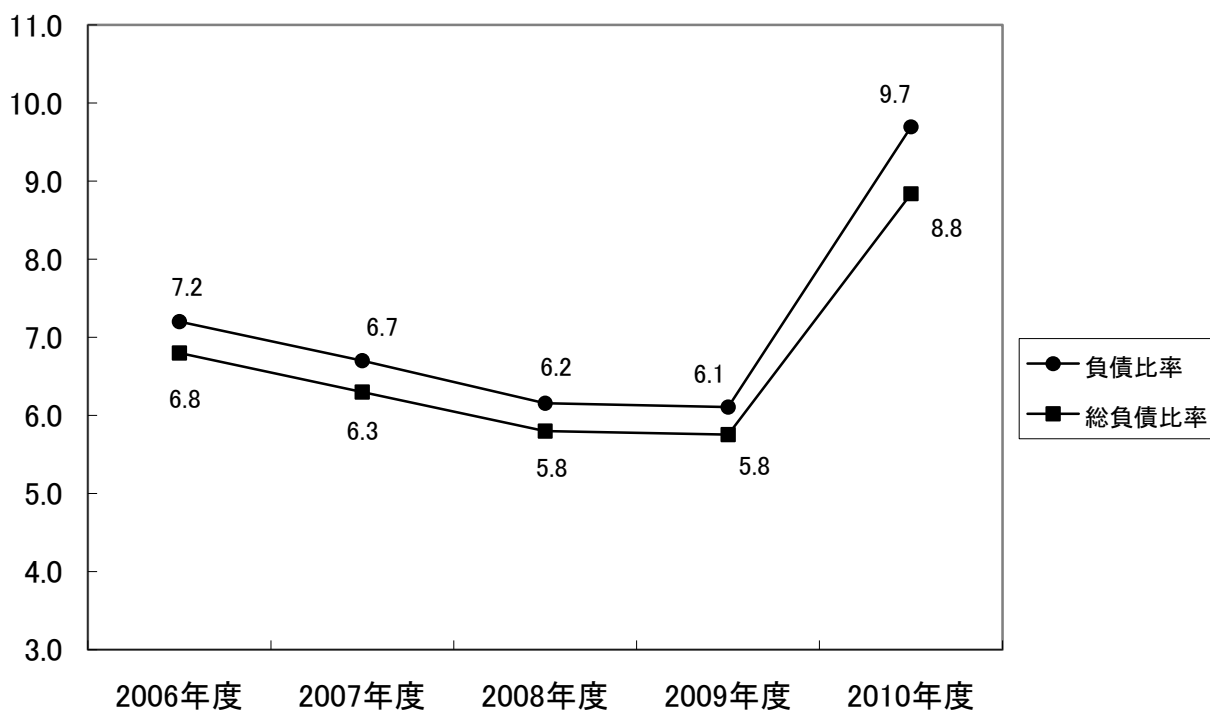
貸借対照表財務比率の推移(1)

(単位:%)



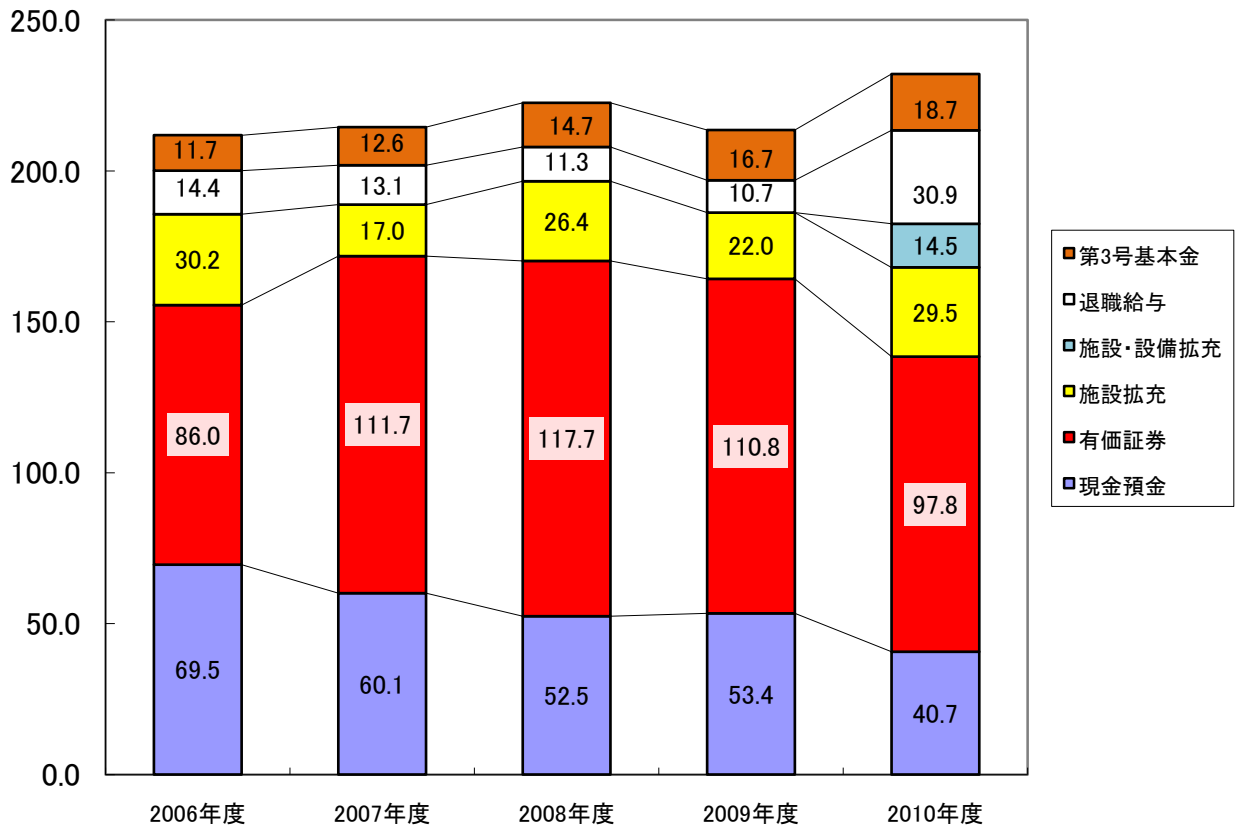
貸借対照表財務比率の推移(2)

(単位:%)



(単位:億円)

各種引当資産等の推移



5. 財務比率比較表(大学法人)

(単位:%)

区 分		西南学院		全国平均	同系統	評価		
		2010年度	2009年度	2009年度	2009年度			
貸借対照表関係比率	自己資金は充実されているか	自己資金構成比率	自己資金 総資金	91.2	94.2	86.8	87.6	△
		消費収支差額構成比率	消費収支差額 総資金	3.0	4.6	△ 8.1	△ 9.5	△
		基本金比率	基本金 基本金要組入額	99.9	100.0	96.9	97.3	△
	長期資金で固定資産は賅われているか	固定比率	固定資産 自己資金	100.8	93.7	100.0	99.0	▼
		固定長期適合率	固定資産 自己資金+固定負債	95.7	92.0	92.0	91.6	▼
	資産構成はどうなっているか	固定資産構成比率	固定資産 総資産	91.9	88.3	86.8	86.6	▼
		有形固定資産構成比率	有形固定資産 総資産	62.4	64.7	61.7	62.4	▼
		その他の固定資産構成比率	その他の固定資産 総資産	29.4	23.5	25.0	24.2	△
		流動資産構成比率	流動資産 総資産	8.1	11.7	13.2	13.4	△
		減価償却比率	減価償却累計額(図書除く) 減価償却資産取得額(同)	33.3	33.1	43.9	44.6	～
	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保率	運用資産-総負債 総資産	28.7	29.5	25.1	25.2	△
		運用余裕比率	運用資産-外部負債 消費支出	1.8	2.1	1.7	1.8	△
		流動比率	流動資産 流動負債	202.5	287.6	232.7	248.4	△
		前受金保有率	現金預金 前受金	232.8	290.1	298.1	304.3	△
		退職給与引当預金率	退職給与引当資産 退職給与引当金	100.0	100.0	70.6	65.6	△
	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	固定負債 総資金	4.8	1.7	7.5	7.0	▼
		流動負債構成比率	流動負債 総資金	4.0	4.1	5.7	5.4	▼
		総負債比率	総負債 総資産	8.8	5.8	13.2	12.4	▼
		負債比率	総負債 自己資金	9.7	6.1	15.2	14.1	▼
	消費収支計算書関係比率	経営状況はどうか	帰属収支差額	帰属収入-消費支出 帰属収入	△ 14.3	9.8	3.7	2.5
収入構成はどうなっているか		学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 帰属収入	77.3	76.2	72.7	73.4	～
		寄付金比率	寄付金 帰属収入	0.9	0.7	2.5	1.8	△
		補助金比率	補助金 帰属収入	10.7	10.6	12.9	14.1	△
支出構成は適切であるか		人件費比率	人件費 帰属収入	77.2	60.3	52.6	56.7	▼
		教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入	29.6	23.2	30.9	28.5	△
		管理経費比率	管理経費 帰属収入	6.4	6.4	10.3	9.9	▼
		借入金等利息比率	借入金等利息 帰属収入	0.0	0.0	0.4	0.4	▼
		基本金組入率	基本金組入額 帰属収入	8.4	21.7	13.1	11.1	△
収入と支出のバランスはとれているか		減価償却費比率	減価償却費 消費支出	11.6	8.6	11.3	10.7	～
	人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	99.8	79.1	72.4	77.2	▼	
	消費収支比率	消費支出 消費収入	124.9	115.2	110.8	109.6	▼	

・(資料)平成22年度版 今日私学財政(日本私立学校振興・共済事業団)

・上表区分中、「全国」は医歯法人を除く、「同系統」は「文他複数学部;157法人」である。

・(評価)△ 高い値が良い ▼ 低い値が良い ～ どちらともいえない

学校法人西南学院 所在地

学院本部、西南学院大学（大学院・法務研究科を含む）

〒814-8511

福岡市早良区西新六丁目2番92号 電話 092-823-3201

西南学院中学校・高等学校

〒814-8512

福岡市早良区百道浜一丁目1番1号 電話 092-841-1317

西南学院小学校

〒814-8513

福岡市早良区百道浜一丁目1番2号 電話 092-841-1600

舞鶴幼稚園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番1号 電話 092-751-6650

早緑子供の園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番5号 電話 092-761-3408